

人権学習展開例〔第6学年〕

1 主 題 反戦・平和

2 教材名

19 I NORI ～祈り～



3 主題・教材について

「I NORI ～祈り～」(※)を作曲した佐々木祐滋さんは、佐々木禎子さんの甥である。

禎子さんは、原爆の子の像のモデルである。2歳の時に被爆し、10年後の6年生の時、突然白血病を発症した。入院中、鶴を千羽折ると病気が治ると聞き、千羽を超える鶴を折ったが、8か月の闘病生活の末に亡くなった。彼女の死に衝撃を受けた同級生たちの呼びかけがきっかけとなって、1958（昭和33）年5月、平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成した。

この教材では、戦争の悲惨さに焦点を当てつつ、佐々木禎子さんの一生と級友たちの取組を知り、佐々木禎子さんや級友たちの願いについて考えることから、平和の尊さ・命の大切さについて学ばせたい。また、佐々木祐滋さんが、これまでに300校以上の学校で講演会・演奏会を行っていることを知り、祐滋さんの活動に込めた思いや願いに迫りたい。

（関連教科・領域：社会、音楽、道徳、総合的な学習の時間、特別活動）

4 ねらい

- ・「I NORI」に込められた願いを考える。
- ・平和の尊さ・命の大切さを知り、平和な社会をつくっていかうとする。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・「I NORI」の歌詞を読み、感想を出し合う。	・「原爆の子の像」「折り鶴」等の写真からも、知っていることや感じたことを出させる。 ・この時点では、作曲者（佐々木祐滋）には触れない。	
展開	「I NORI」の背景を知ろう。 ・「サダコさんの誕生」～「サダコさんの命の火が消えた」までを読み、禎子さんの一生について分かったことを発表する。 ・『「原爆の子の像」～「なかまが立ち上がった」を読み、同級生たちの気持ちを考え、発表する。 ・「私たちの祈り」～「世界へ伝えるサダコの願い」を読み、「像」に込められた思いを考えワークシートに記入し、話し合う。 「I NORI」に込められた願いを考えよう。 ・「I NORI」に込められた願いを考え、ワークシートに記入する。	・禎子さんの家族の様子、禎子さんの名前に込められた願い等を知る。 ・原爆が投下された時の禎子さんたちの様子やまちの様子を読み取る。 ・原爆に関する写真や映像を用いて、ていねいに事実を伝える。 ・病氣と闘う禎子さんの気持ちに迫らせたい。 ・禎子さんのために何もできなかった級友たちの悔しさが、二度と戦争による犠牲者が出ることのないようにという願いへとつながっていることに気づかせたい。 ・原爆の子の像の石碑に刻まれた「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです」の言葉に着目させたい。 ・作曲者である佐々木祐滋さんは、禎子さんの甥であることを伝える。	原爆に関する写真や映像 ワークシート

展 開	- 考えたことをグループで出し合う。 - グループごとに発表する。	- 祐滋さんが、「歌」と「語り」で禎子さんの思いを伝え、「平和の尊さ」や「命の大切さ」を訴えていることに気づかせたい。 - 身近なことからできることを考えさせたい。	
	（発展） 禎子さんをモデルにした歌「I NOR I」を歌おう。 「I NOR I」を歌う。	歌詞の意味を意識しながら、歌うことを伝える。	DVD（ピアノ伴奏）
まとめ	本時の学習をふり振り返り、気づいたことや感じたこと、分かったことを発表する。	みんなの意見を聞き、思いを共有させたい。	

※ 「I NOR I～祈り～」

作詞 GOD BREATH 作曲 佐々木祐滋

JASRAC 出 1313931-301

「原爆の子の像」・・・

○「原爆の子の像」には、どのような「^{さけ}叫び」、「^{いの}祈り」がこめられているのでしょうか。

「I N O R I」・・・

○「I N O R I ～祈り～」を作った人は、この歌にどのような願いをこめたのでしょうか。

○その願いに対して思ったことを書きましょう。

平和な世界を目指して・・・

○平和な世界を目指し、自分たちにできることを考えましょう。